

畜産経営力向上緊急支援リース事業

【25,000百万円】

対策のポイント

畜産経営における生産性や飼料自給率向上、飼料生産受託組織等の経営高度化及び配合飼料工場における飼料原料多角化に必要な機械のリース方式による導入を支援します。

<背景／課題>

配合飼料価格の高騰や畜産物価格の低迷により、経営環境が悪化していることから、畜産経営等における生産性や飼料自給率の向上等により生産コストを低減し、経営体質の強化を図ることが課題となっています。

政策目標

「食料・農業・農村基本計画」において設定された、需要に応じた生産数量目標を達成

- 生乳の生産量（795万t（20年度）→800万t（32年度））
- 牛肉の生産量（52万t（20年度）→52万t（32年度））
- 豚肉の生産量（126万t（20年度）→126万t（32年度））
- 鶏肉の生産量（140万t（20年度）→138万t（32年度））
- 鶏卵の生産量（255万t（20年度）→245万t（32年度））

<主な内容>

- ①畜産経営における生産性や飼料自給率の向上に必要な機械
- ②飼料生産受託組織等の経営の高度化に必要な機械
- ③配合飼料工場における飼料原料の多角化に必要な機械

のリース方式による導入について支援（補助率：①／3、②については1／2）を行います。

補助率：定額

交付先：（独）農畜産業振興機構

事業実施主体：（独）農畜産業振興機構による公募

お問い合わせ先：

- ①の事業 生産局畜産企画課（03-3501-1083（直））
- ②の事業 生産局畜産振興課（03-3502-5993（直））
- ③の事業 生産局畜産振興課（03-3591-6745（直））